

授業科目	総合理学療法学Ⅱ				
担当者	PT専任教員、稲岡秀陽、安倍浩之、文野勝利（すべて実務経験者）				（オムニバス）
実務経験者の概要	専任教員はすべて臨床で理学療法診療に関わりあり、外部講師 稲岡秀陽（急性期病院、老人保健施設などの法人リハ部門管理者）、安倍浩之（介護保険領域など企業代表者）、文野勝利（介護保険領域の部門管理者）、				
学科名	理学療法学専攻	学 年	4年	総単位数	1単位
		開講時期	通年	選択・必修	必修

■ 内 容

臨床実習も終了しほぼすべての履修内容を習得した段階で、理学療法士に必要な知識と能力の総括を行います。専任教員については各々の専門領域について講義します。また、外部の先生方については現在の職場に関する管理的な講義をします。

■ 到達目標

理学療法を行うにあたって必要な能力を系統的に整理し、不足があれば自ら補うように行動することができる

■ 授業計画

- 第1回 代表的な症例の検討 (1) 運動器 佐藤 (実務経験者)
- 第2回 代表的な症例の検討 (2) 脳血管障害 岩田 (実務経験者)
- 第3回 代表的な症例の検討 (3) 脊髄と神経 島 (実務経験者)
- 第4回 代表的な症例の検討 (4) 難病 岩田
- 第5回 代表的な症例の検討 (5) 内部障害 田坂 (実務経験者)
- 第6回 代表的な症例の検討 (6) 発達障害 藪中 (実務経験者)
- 第7回 代表的な症例の検討 (7) 切断と義肢 その他 井上 (実務経験者)
- 第8回 日常生活活動学 牧之瀬 (実務経験者)
- 第9回 理学療法治療学 (物理療法、運動療法の基礎) 椰、田中 (すべて実務経験者)
- 第10回 運動学 境 (実務経験者)
- 第11回 セラピストに求められる基礎知識 今井, 島, 椰, 伊禮, 田中, 相原 (すべて実務経験者)
- 第12回 セラピストに求められる基礎知識 今井, 島, 椰, 伊禮, 田中, 相原
- 第13回 理学療法業務と管理 (1) 安倍 (実務経験者)
- 第14回 理学療法業務と管理 (2) 稲岡 (実務経験者)
- 第15回 理学療法業務と管理 (3) 文野 (実務経験者)

■ 評価方法

提出物5% 科目試験[筆記試験]95% なお、小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

当該科目内容は今まで学習した内容の総復習です。なお、講義内容や回数は学生の状況によりこの記載に限りません。適宜学習計画については教員のチェックを受け助言をもらって下さい。

■ 教科書

書 名：理学療法士・作業療法士 国家試験必須ポイント
 出版社：医歯薬出版

■ 参考図書

書名：国試の達人（運動解剖生理学編、臨床医学編、理学療法編）

著者名：理学療法科学学会

出版社：理学療法科学学会編

書名：理学療法士作業療法士 過去問題集

出版社：久美出版

書名：PT・OT 国家試験共通問題 であるもん・でたもん

出版社：医学書院

書名：基礎固めヒント式トレーニング 臨床医学編

出版社：南江堂

書名：PT・OT 国家試験共通問題 ヒント式トレーニング

出版社：南江堂

■ 留意事項

計画的な学習を進めて下さい。

■ 講義受講にあたって

当該科目内容は今まで学習した内容の総復習です。なお、講義内容や回数は学生の状況によりこの記載に限られません。適宜学習計画については教員のチェックを受け助言をもらって下さい。